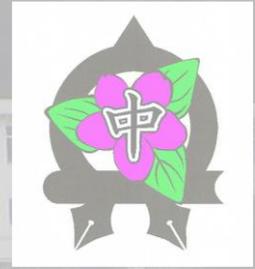


# 協働



## 自分の未来をつくるもの

副校長 石井 淳

保健だより2月号にこんな記事がありました。「ふわふわ言葉で心を温めよう」と題して、2月の保健目標「思いやりの心をもとう」と絡めた、青木養護教諭による文章です。

「大丈夫?」「ありがとう」などのふわふわ言葉を言われたら、温かい気持ちになりませんか。仲良しだからこそ「ばか」「キモイ」などのチクチク言葉を言ってしまうことがある人もいるかもしれませんが、言われた方は表に出さないだけで実は傷ついている人が多いはずです。

私は、些細なことでも人に感謝の気持ちを伝えることを日々意識しています。「ありがとう」という言葉を積極的に言っていたら、自然と「ありがとう」と言われる回数も増えてきたように感じます。

相手の心も自分の心もウォームアップできるような言葉遣いを意識して生活してみてください♪

こんなことばを御存じでしょうか。

- ・自分の現在をつくったのは、今まで耳にしてきた言葉。
- ・自分の未来をつくるのは、自分が発する日々の言葉。

私たちは日々たくさんの言葉を耳にしています。時には励まされ、時には傷つき、たくさんの思いを受け止めてきています。それが積み重なったのが現在の自分というわけです。

一方で、自分が発する言葉をもっとも多く聞くのはだれか? ほかでもない自分自身です。自分の言葉を前向きでポジティブなものにすれば、それを毎回耳にすることで、前向きでポジティブな気持ちを自分自身でつくっていくことができるということです。「夢は口に出せば叶う」といわれる所以かもしれません。

私自身、ポジティブな言葉をたくさん発して、互いに励まし合える良好な人間関係をつくと共に、前向きでポジティブな未来を築いていきたいと思っています。